

# シラチャ校だより

泰日協会学校シラチャ校  
2024. 7. 31



## オリンピックが開催される夏休みを前に思うこと

シラチャ日本人学校 校長 藤枝茂雄

いよいよ一学期も最終盤を迎え、夏休みが目前に迫ってきた。今年の夏はパリでオリンピックが開かれることから、日本選手の活躍が今から楽しみである。ところで、オリンピックが近づくと、いつも思い出される郷土の話題がある。それは、今から約 100 年前の 1928 年にアムステルダムで開催されたオリンピックの陸上女子 800m で日本女子選手として初めての銀メダルを獲得した人見絹枝選手ひとみきぬえの「メダル」にまつわる話である。

人見選手の実家は、私が勤めていた中学校の学区内にあり、人見家の現当主の S 氏とも懇意にさせていただいていたのだが、S 氏から「家に保管されている銀メダルは、今、存在していること自体が不思議」ということを初めて聞かされたときには驚きを隠せなかった。

アムステルダムオリンピックは、第一次世界大戦の戦勝国となり、アジアの国として初めて国際連盟の常任理事国入りを果たした日本と日本人にとって、極めて重要な大会だった。もちろん日本人選手がスポーツにおいても世界の舞台で勝つことを誰もが期待し、これまでの実績や記録から見て、その可能性が極めて高いとされた、走り幅跳び、走り高跳び、三段跳びの織田幹雄選手おだみきおと、陸上女子 100m の人見絹枝選手への期待はとりわけ大きく、二人が大会前から受け続けたプレッシャーは大変なものだった。

しかし、オリンピック開会后、織田選手も人見選手も、それぞれが最も期待された「走り高跳び、走り幅跳び」と、「陸上女子 100m」でメダルに手が届かなかった。人見選手は 2 次予選で 4 位に終わり、決勝にも残れなかった。

織田選手は残された最後の種目である三段跳びにすべてをかけ、人見選手は「このままでは日本に帰れない」と、自らの専門種目でもなく、出場する予定もなかった女子 800m に急遽エントリーきゅうきょすることを監督に直訴じきそした。

そして、いよいよ決勝の行われる 8 月 2 日、二人の選手は同じ車に乗り、ホテルを出発した。見送りの誰からともなく歌われ始めた「君が代」の歌声が響く中、織田選手も、人見選手も、見送る人も、みんな涙を流しての出発となった。二人は、のしかかる重圧のため、試合会場に着くまでほとんど言葉を発することができなかった。

この日、織田選手の三段跳び決勝と人見選手の 800m 決勝は、ほぼ同時刻に行われた。人見選手が、最後の力を振り絞って二位でゴールし、そのままフィールドに倒れこんで気を失いかけたとき、遠くなっていく意識の向こうで、「織田選手が一等になった」という声が聞こえ、「これで日の丸が

上がる」と、ほっとした気持ちになったという。

人見選手は 25 歳という若さで結核により他界するが、選手時代に数多く獲得した優勝カップやメダル、トロフィーは実家には全くと言っていいほど残っていない。それは、日中戦争中の 1941 年から、国により軍需物資調達のための「金属回収令」が施行されたため、すべて「お国のため」に供出されたからだ。特に絹枝選手の実家は、町内会長をつとめる家だったこともあり、「正月には早起きして体を清め、東の空が明るみ始めるころ、まず皇居に向かって、天皇陛下を<sup>たてまつ</sup>奉り、次に、皇后陛下をはじめとする皇室の方々の幸せを祈り、その後ご先祖様に安泰を報告して感謝の言葉を述べたのち、最後に我が身や家族の幸せを祈る」ことが当たり前だった人見家の当主として、絹枝選手の父親は、「まず、我が家の金属から」と、率先して供出に協力したのだ。

S 氏によると、「人見家の男性たちの間で、絹枝さんのあの銀メダルも溶かされて鉄砲弾にされてしまったんだなあという会話が行われていた」という話を聞かされたことがあるという。

ところが、今から 24 年前の平成 12 年（2000 年）に、大変な「事件」が起こった。絹枝選手の姉の遺品整理の最中に、タンスの奥の包みの中から、溶かされたはずの「銀メダルらしきもの」が出てきたのだ。そのため、その真偽をめぐって、また、それが本物ならば、どうしてここにあるのか、ということで大騒ぎになった。

このことは地元のメディアでも大きく取り上げられた。そして、メダルが本物であるかどうかを確かめるた

め、人見家の人々は、間違いなく本物であることが明らかな織田幹雄氏の金メダルと<sup>いがた</sup>鋳型のデザインを照合するために東京に出かけた。その結果、二つのメダルはぴたりと型が一致することが確認された。

S 氏と私は、「この銀メダルを命がけで守ったのは、絹枝選手の母親ではないだろうか」、という話をした。やはり、わが子の人生のすべてに等しい「銀メダル」は、母親の母性としてどうしても手放すことはできなかったのではないか。そして、あの戦争遂行に向けた国家総動員の時代が終わり、平和が訪れても誰にもそのことを言えず、実の娘である絹枝選手の姉にそれを託したのだろうと。真実は今となっては誰にも分からない。

私の校長在任中には、学校運営協議会の方々の協力の下で「人見絹枝スポーツ奨励賞」を創設し、部活動で全国大会レベルの成績を残した選手を学校運営協議会会長から表彰してもらうことにしていた。その時には、表彰式の来賓として S 氏を招き、家宝ともいえる「絹枝選手の銀メダル」を表彰された生徒の手に取らせてもらい、絹枝選手の功績にあやからせてもらっていた。



人見絹枝選手が獲得した銀メダル  
(人見家所蔵:直径 5.5 cm 上表面、下裏面)

今日の平和な時代にあって、かつての苦難の時代にも、一人の選手の一つのメダルの中にこのような人々の思いや願い、努力や苦勞が込められていたということを私たちは忘れるべきではないだろう。

これから先、それぞれの子供たちが、様々な努力をして、それぞれの「メダル」を得るだろうが、まず、この夏、メダルの獲得に向けてすべてをかける日本人選手の熱い戦いにエールを送り、彼ら彼女らの努力を、自分のこれからの人生における「メダル」獲得のためのエネルギーとして受け止め、吸収してほしい。両親をはじめとした家族の人々も、そんな児童生徒の皆さんを、これからもずっと応援してくれるに違いない。

# タイの自然に包まれて育つシラチャっ子

1年学年主任 木村久美子

6月25日(火)、校外学習でスカパーブ公園へ行ってきました。通学バスとは違って、観光バスを利用しました。大きなバスに乗ることが嬉しかったのか、バスに乗りこむ度に歓声があがり、出発前から大興奮の子供たち。学校から公園までの間、雨が降っていたのですが、子供たちの勢いが雨雲をどこかへ追いやったようで、到着するころには雨も上がり爽やかな天候の中、活動することができました。公園に到着すると、地元の方々が手を振っていただいたり、声をかけてくださったりと笑顔で温かく迎えていただきました。



前半は、クイズ形式のスタンプラリーを行いました。タイ語の授業で覚えた「あいさつ」「物の名前」を答えたり、公園に咲いている花の名前を答えたりしました。タイの遊び「マーガンクルアイ」や「ドゥーンガラー(日本でいう缶ぽっくり。ココナッツの実を使ったもの)」

を答えるといった難しい問題では、他のグループとも協力

後半は、遊具やブランコがある広場で遊びました。近くの島を見たり、潮が引いた海で潮干狩りをしている人を見つけたり、なかには「海のおいがする。」「風が気持ちいいな。」と、じっと海を見つめている様子も見られました。

仲間と一緒に楽しい時間を過ごし、タイの人々の温かさ、タイの自然に触れた、よい学びの機会となりました。



## ドキドキ、班活動

2年学年主任 播村 有香

2年生はノンヌット公園で校外学習を行いました。広大な敷地に33のテーマ別ガーデンが点在する広い園内で、児童は2度の班活動に取り組みました。

今回の校外学習の目標は、「みんなで使う場所のルールやマナーを守ること」「みんなと仲良く安全に行動すること」、「自分の役割をしっかりと果たすこと」。班で役割分担をした時、自然と班の目標についても話し合う姿が見られました。そんな児童を見ていると、とても頼もしく感じました。

当日の班活動では、集合場所がわからなくなったり、集合時間に間に合わなかったりした班もありました。しかし、常にメンバー全員が揃って、お互いに声を掛け合いながら活動できていたことが印象的でした。そして、自分たちで立てた目標に向かって取り組もうとする姿勢が伝わってきました。これからの学校生活でも、友達のよさに気づき、協力して何事にも取り組む力を育めるよう支援していきたいと思います。





今年度着任された先生方の文章を  
順番に紹介していきます。

## 泰学事始

太田賢吾

「明日はどうして学校が休みなのかを知っていますか？」

祭日を翌日に控えた日には、1年2組の児童にこのように問い掛けています。

初めてタイのカレンダーを目にしたとき、「プートモンコン」や「ヴィサカブーチャ」が何を意味する日なのか、私は全く理解することができませんでした。

しかし、ソングランの際、水掛け祭りの起源を知りたいと思ったことをきっかけに、祭日の意味を調べるようになりました。調べて分かれると、大人の私でさえ、だれかに話したくなるものです。何気ない会話を通して、足りなかった情報は補われ、誤った情報は正され、洗練されていきます。このような過程を経て、冒頭の問い掛けができあがったのです。

私の問い掛けに、児童はとても興味津々です。ヒントとして、本校で作成している「シラチャペディア」に載っている写真を提示したこともあります。何の日なのかを真剣に推測し、間違った答えでも堂々と発言する姿や、それを受け入れる教室の雰囲気はとても良いものです。

知識を得るきっかけは、どこにあるか分かりません。「どうしてだろう？」と思い、調べて分かることが、生活をより楽しくするのではないのでしょうか。今後も、私は子供たちと一緒にタイを舞台にした探究の旅を続けたいと思います。

## 「しあわせ」

中野 遥奈

私は、神奈川県川崎市で生まれ育ちました。小中高とバドミントンをしていましたが、大学生の時にセパタクローという競技に出会い、大学卒業から8年経った今でも競技として続けています。セパタクローのセパはマレー語で「蹴る」タクローはタイ語で「ボール」という意味があります。タイでは小学校や中学校の体育の時間に必ず行うそうです。国際大会では、タイに勝てる国はなかなかありません。そんなタイに来ることになったのも何かの縁だと感じています。

さて、「しあわせ」というと「幸せ」という字を思い浮かべる人が多いと思います。私が大切にしている言葉は「仕合わせ」です。人と人との巡り合わせという意味があります。

私は、中学校の頃の顧問の先生に憧れて、先生を目指しました。大学では、日本人学校で研究を行う先生の元で学び、先生になってからもたくさんの素敵な出会いがありました。どの出会いも私にとってなくてはならないものでした。

出会いと別れの多い日本人学校だからこそ、みなさんには人と人との出会いに感謝をして、今一緒にいる仲間を大切に過ごしてほしいと思います。私自身も、このシラチャで出会う人とのめぐり合わせを大切に、日々たくさんの「しあわせ」を感じて過ごしていきたいと思っています。



# 9月の行事予定

## 2学期開始日

9月2日(月)は、2学期の始業式が行われます。児童の皆さんは袖付き、襟ありの服装で登校してください。また、この日は**全校5時間授業**となります。**お弁当は必要**ですので忘れずに持ってきて下さい。各学年・学級から出ているお便りをもとに、準備をお願いします。

日 曜	児童・生徒の予定	バス時刻
1日(日)		
2日(月)	・始業式・全校5時間授業 ・購買(注文票配布日)	14:20 P1-6 M1-3 ★
3日(火)	・購買(注文票提出日)・実力テスト(9年) ・定例委員会(中学部)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
4日(水)	・修学旅行(6年)	14:20 P1 15:25 P2-5 M1-3
5日(木)	・修学旅行(6年)・ヤマモリ見学(5年)	14:20 P1-2 15:25 P3-5 M1-3
6日(金)	・修学旅行(6年)・学級だより配信(小学部)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
7日(土)		
8日(日)		
9日(月)	・放課後指導(3年)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
10日(火)	・放課後指導(1年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
11日(水)		14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
12日(木)	・第2回定期考査(7,8,9年)・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
13日(金)	・委員会(小学部)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
14日(土)		
15日(日)		
16日(月)	・放課後指導(3年)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
17日(火)	・放課後指導(1年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
18日(水)	・購買(注文票配布日)・ヤマモリ見学(5年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
19日(木)	・購買(注文票提出日)・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
20日(金)	・学級だより配信(小学部)・避難訓練(火災)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
21日(土)		
22日(日)		
23日(月)	・クラブ(小学部)・放課後指導(3年)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
24日(火)	・放課後指導(1年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
25日(水)		14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
26日(木)	・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
27日(金)		14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
28日(土)		
29日(日)		
30日(月)	・全校5時間授業・学校,学年だより配信 ・学級だより配信(中学部)	14:20 P1-6 M1-3 ★

## 9年生実力テスト

9月3日(火)は、9年生の実力テストです。定期考査とは違い、これまでの学習内容全てがテスト範囲となります。また、この結果は、高校受験の上で大切な資料にもなります。日々の学習を大切に、計画的に取り組んでいきましょう。

## 第2回定期考査

中学部では、9月12日(木)に第2回定期考査(5教科)が行われます。学校での学習が一旦ストップする夏休みは、これまでの学習をさらに深めたり、やり残しを行ったりする絶好の機会です。試験範囲を確認し、夏休みを利用して学習計画をしっかりと立て、実践してみましょう。

## 避難訓練【火災】

9月20日(金)には、6月に実施した不審者の侵入に備えた避難訓練に続き、火災発生時の際の避難訓練を行います。火災が起こったら、何に気を付ければよいのか、どこにどのように避難すればよいのかを考えてみましょう。大切な命を守るための重要な学習です。

## 第6回シラチャ祭

今年度のシラチャ祭では、10月2日(水)が児童生徒鑑賞日、10月5日(土)が保護者鑑賞日となります。詳細につきましては、2学期にご案内します。今年度は小中合同でシラチャ祭実行委員会を立ち上げ、全校(1~9年生)で参加する実行委員会企画を検討しています。普段の学習の成果を子供たちが一丸となって発表する機会となります。小学生と中学生が連携して作り上げるシラチャ祭にご期待ください。

★は特別バスです。通常の下校バスと時刻が違うときについています。

## 引っ越しをされた場合

担任へ Google 連絡帳等でご一報ください。また、電話番号が変わられた場合も同様をお願いします。緊急時のご連絡先(SMS含む)の把握にも必要となります。

## 国外旅行届の提出

7月26日(金)付けで提出用フォームをストリーム配信していますので、届け出をお願いします。

